

令和元年度 民間資金等活用事業調査費補助事業

琴浦町東伯総合公園民間資金等活用導入可能性調査 (調査対象箇所：琴浦町東伯総合公園)

【調査主体】琴浦町

調査対象事業の概要／施設の概要

◆調査対象事業の概要

本調査は、東伯総合公園の施設運営、更新等にあたりPFI手法の導入により、効果的、効率的な質の高い住民サービスが可能であるか調査・検討し、PFI手法の導入に向けた最適な事業スキームの基本的な考え方及び事業要件、リスクを整理することを目的とする。

◆施設の概要

住民の健康増進、スポーツ振興の場を提供するための総合公園である。公園内には、体育館(アリーナ、武道場、会議室、温水シャワー、トレーニングルーム)、野球場、テニス場(真砂土)、サッカー場(天然芝)、多目的広場、どんぐりひろばがある。また、公園内には、宿泊研修施設も備えられており、合宿利用が可能である。

なお、施設の運営は町が直営で実施している。



検討経緯等

◆調査対象事業の概要

琴浦町では、現在、東伯総合公園を直営管理方式により管理しているが、従来の行政による運営方法から民間のノウハウを活かし、住民サービスの質を高めるとともに、収益性を高める運営方法による持続可能な施設管理が必要となっている。あわせて当該施設は、施設の老朽化対策に直面しており、その更新等についても、より効率的な更新方法が必要とされる。

上記課題を解決するため、PPP/PFI方式を視野に入れた整備・リニューアルに伴う民間資金等の導入の可能性を探る調査を実施するに至った。

事業化に向けて解決すべき課題及び検討すべき内容

【課題①】既存施設に対する事業スキームの構築

【内容①】町の考える検討対象地の整備計画の作成、市場調査結果を踏まえた事業スキームの検討、総合評価の実施

【課題②】検討対象地の市場性確認

【内容②】民間企業参画意向調査方法の実施(アンケート及びアイデア募集を想定)、調査票等の作成、調査結果の分析

【課題③】整備運営事業に係る概算事業費の算出

【内容③】本調査による検討結果を基に、本施設整備・リニューアルに係る事業費の把握

令和元年度 民間資金等活用事業調査費補助事業

琴浦町東伯総合公園民間資金等活用導入可能性調査 (調査対象箇所：琴浦町東伯総合公園)

【調査主体】琴浦町

調査の流れ／調査内容

本調査は、以下のとおり実施した。

調査の流れ	調査内容
対象施設の基本情報整理	利用状況整理、劣化度調査等の実施
↓	
市場調査	公募型参画意向調査、アイデア募集調査の実施
↓	
事業スキームの検討	適用する手法、施設整備計画、民間事業者の収入方法の検討
↓	
事業スキームの総合評価	検討事項を基に、定性・定量評価を実施
↓	
事業スケジュールの立案	スケジュールの検討

事業化検討

市場調査の結果、本事業へ関心を持つ民間事業者を一定数確認した。また各個別施設に対するポテンシャルの捉え方は民間事業者ごとに異なるものの、各個別施設へ対して「ポテンシャルがある」と捉える民間事業者は一定数確認した。

さらに、適用する手法においては、施設整備から維持管理運営段階において「PFI(RO)方式」を採用することが最も望ましいと総合的に判断した。

具体的な整備内容としては、①体育館 ②テニス場 ③中央広場・園路を施設整備業務の対象施設として検討している。なお、その他の個別施設については、「ポテンシャルがある」と捉える民間事業者が一定数確認できる結果を考慮し、施設整備の有無を民間事業者の提案に委ねる。左記事項により、民間事業者ごとに得意分野を發揮しやすい事業条件を整え、民間事業者から良い提案がなされることを期待する。

また、民間事業者の利用料金収入については、運営業務の内容に応じて、サービス対価の有無・増減を調整することを想定している。

今後の進め方

令和3年度、4年度で民間事業者選定を実施した後、令和6年度には全施設供用開始し、令和15年度までを事業期間とすることを想定している。

なお、PFI事業の民間事業者選定に先立ち、地元企業の参画促進を目的とした「地元事業者勉強会」の実施を予定している。

想定される課題

【課題①】PFI事業への地元企業参画が困難であるとする

【対応①】「地元事業者勉強会」を実施し、地元企業がPFI事業へ参画を検討できる段階まで支援を行う。

【課題②】官民間での明確なリスク分担

【対応②】先行事例を考慮し、公募資料へ、リスク分担を明記する。